

1. 調査（県民アンケート「県民の幸福に関する意識調査」）の目的・内容

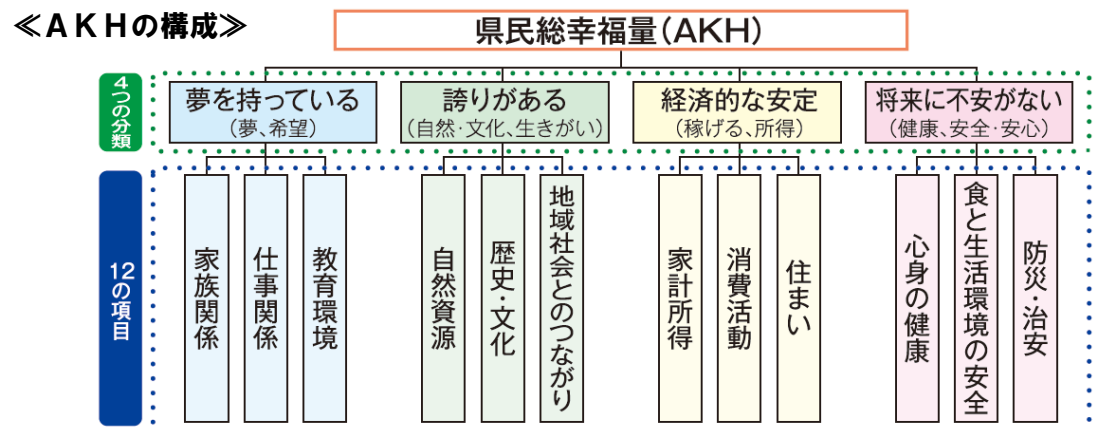
- (1) 24年度から継続して調査。平成26年度より「熊本県しあわせ部」の認知度に関する設問を新たに加えて実施。
- (2) 本調査結果に基づいて、今年度の“県民総幸福量（AKH）”を算出するとともに、過年度からの推移、地域別や年齢階層別での違い等を整理。
- (3) 調査の対象者や項目等は、次のとおり。

- ◆ 対象者：県内在住の20歳以上の男女3,500人（無作為抽出）
- ◆ 期間：平成27年6月1日～6月15日
- ◆ 回収数：1,672件（回収率：47.8%）
- ◆ 項目：
 - 直観的な幸福度（現在、幸福を感じているか）
 - AKHの“4つの分類”の重要度（ウエイト）
 - AKHの“12の項目”の満足度（計12問）
 - 幸福を高めるために必要なこと（自由記述）
 - 「熊本県しあわせ部」の認知度
 - 回答者の属性（性別、年齢層、居住地域、職業）

2. 主なまとめ

(1) 全体集計結果について

- ① 今年度のAKHは「68.2」で、過去3カ年に引き続き安定した値が得られた【図1】。
- ② AKHに占める“4つの分類”ごとの数値（満足度×ウエイト）の割合は、「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の順となり、「夢」「誇り」が「経済」を上回った【図2】。
- ③ ウエイト及び満足度の数値は、以下の順となった。
 - ア ウエイト【図3】
 - イ 満足度【図4】
- ④ 「直観的な幸福度」について、幸せだと感じている県民の割合（「感じている」+「やや感じている」）は「73.5%」であった【図5】。
 - ※26年度は73.2%。
- ⑤ 「熊本県しあわせ部」について、「知っている」の回答割合は「48.1%」であった【図6】。

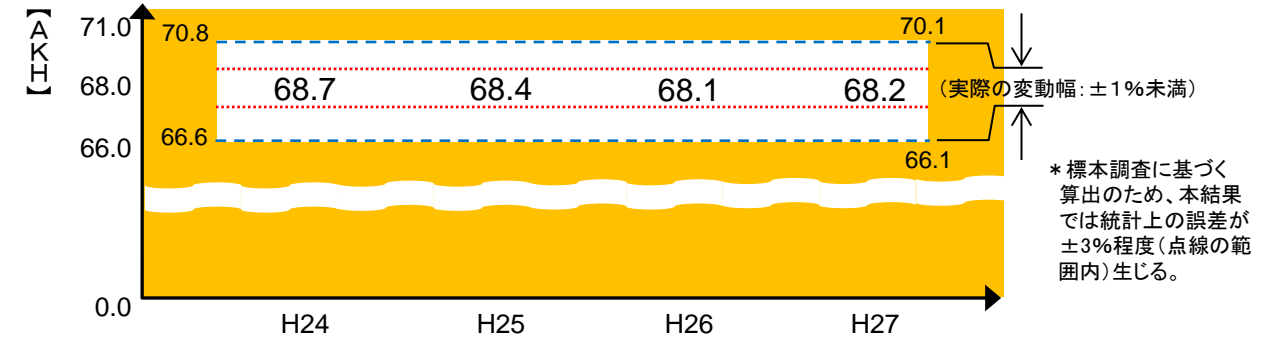


○ AKHは、蒲島県政の基本理念である「県民幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげることを目的として熊本県が独自に作成する指標。
 ※「Aggregate Kumamoto Happiness」の略称。

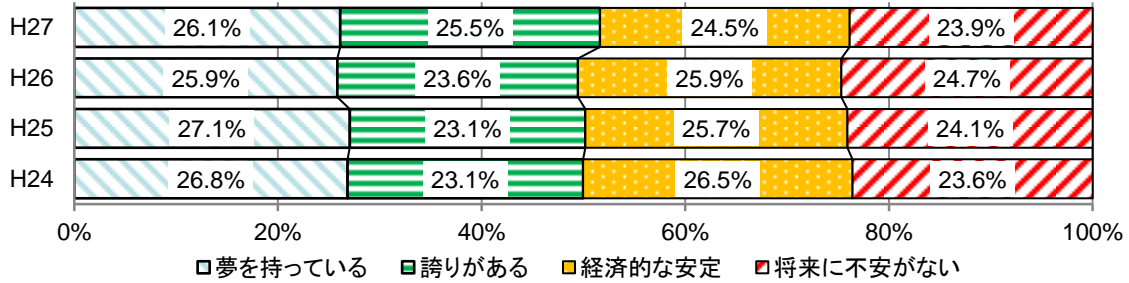
○ 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、それらをどの程度重視するかという「ウエイト」や、各分類に属する項目の「満足度」を県民アンケートで測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組み。

○ 計算上、最高が150となるため、100を最高に換算して表示。

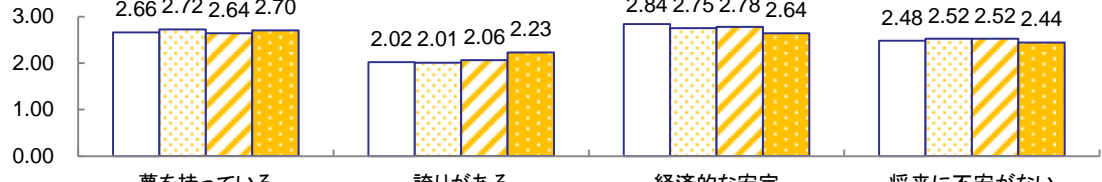
【図1: AKHの値】



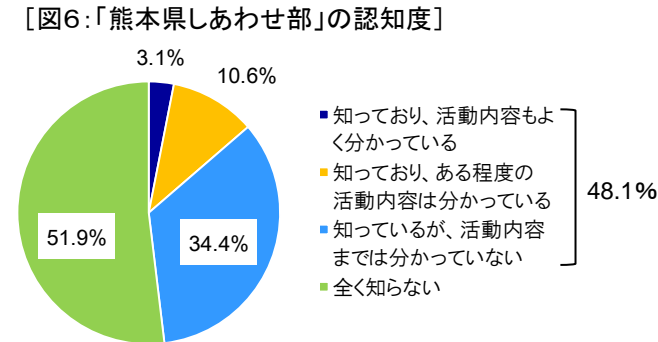
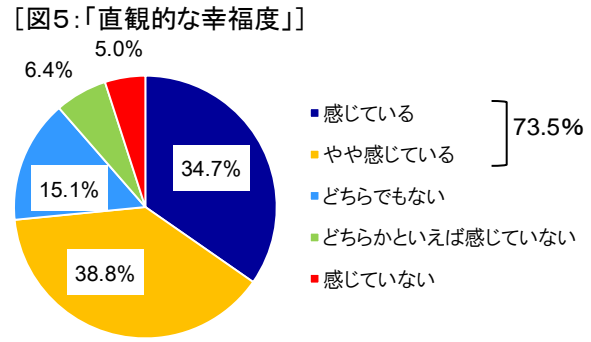
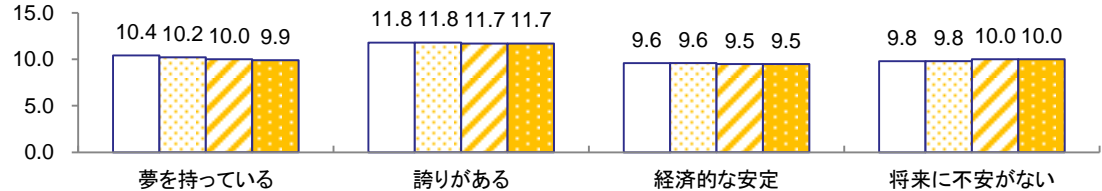
【図2: AKHに占める“4つの分類”ごとの数値（満足度×ウエイト）の割合】



【図3: “4つの分類”のウエイト】



【図4: “4つの分類”の満足度】



(2) 属性別のAKH(クロス集計結果)について

① 男女別

○ 男性が68.5、女性が67.9で、男性の方が高くなった。

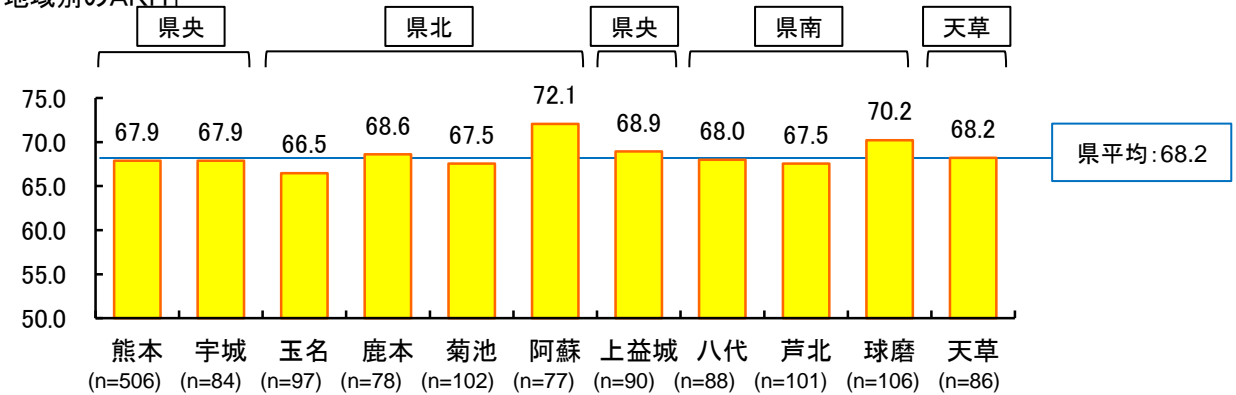
② 地域別 [図7]

- 鹿本、阿蘇、上益城、球磨が県平均を上回った。
※阿蘇は3年連続で県平均を上回った。
- 広域で見ると、県南(八代・芦北・球磨)で値が上昇し、県央(熊本・宇城・上益城)や県北(玉名・鹿本・菊池・阿蘇)との差はあまり見られなくなった。

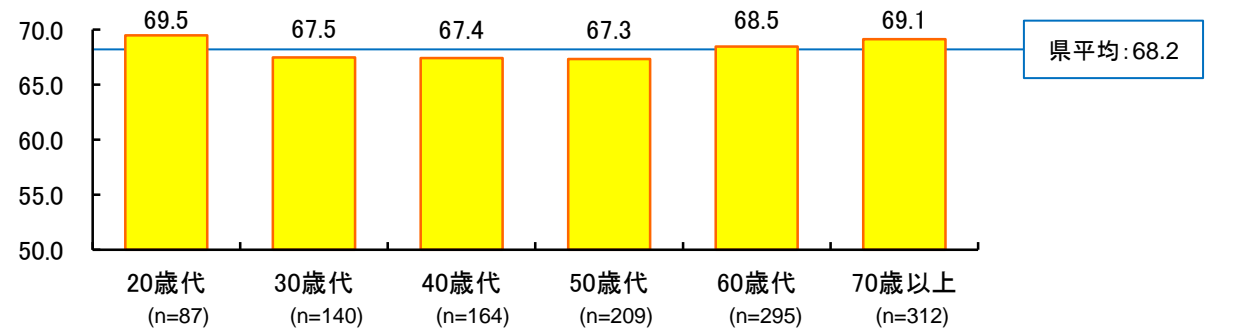
③ 年齢階層別 [図8]

○ 20歳代が最も高く、50歳代が最も低くなった。

[図7:地域別のAKH]



[図8:年齢階層別のAKH]



※ n(有効回答数)が小さくなるほど、統計上の誤差が大きくなることに留意。

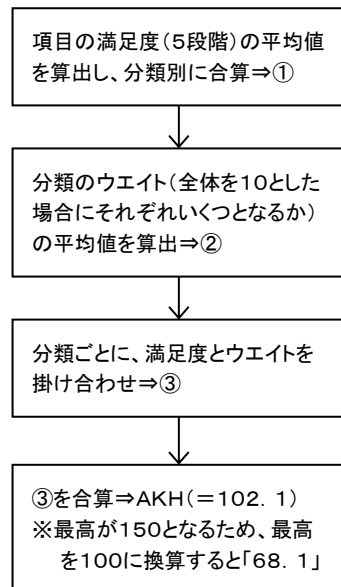
(3) これまでの調査で明らかになったこと及びAKHの今後の活用について

- ① これまで4か年の推移より、以下の点を確認した。
 - ア 「幸福の要因として非経済的な要因も重要であること」
 - イ 「地域によって求める幸福の形は異なること」
 - ウ 県全体のAKHはとても安定した値となること
 - エ 属性別(地域別、年齢階層別)のデータでは、年度ごとのバラつきがやや大きくなるため、データの一層の蓄積を通じて傾向を把握していく必要があること
- ② ①を踏まえ、AKHの3つの活用方法(「政策評価」「きめ細やかな立案」「住民参加型の政策形成」)の深化に向けて、今後も次の取組みを進めていく予定。
 - ア 調査の継続によるデータの蓄積及びデータ分析の深化
 - イ 地域ならではの幸福の姿を見出すワークショップ等の開催 ほか

AKHの算出

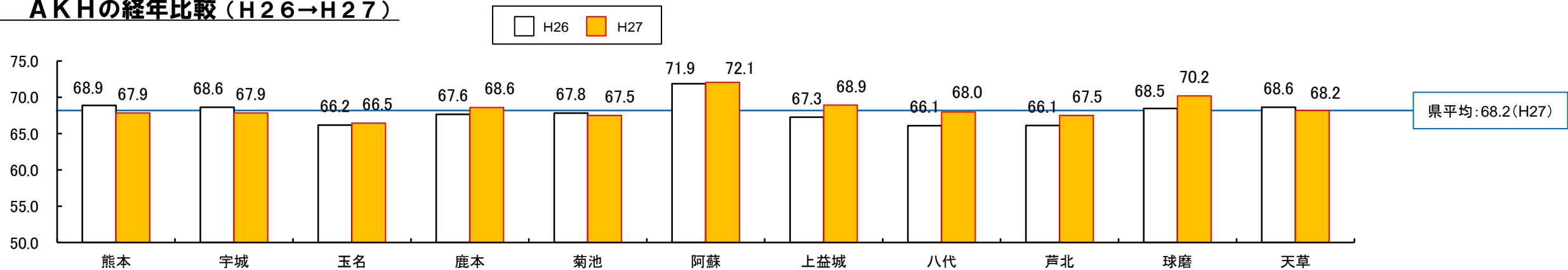
《算出結果(H27)》

《算出手順》



分類 《4》	項目 《12》	満足度		ウエイト (2)	①×② =③	AKH (③の合計)
		設問	平均値			
夢を持っている	家族関係	あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？	3.8	9.9	2.70	26.7
	仕事関係	あなたは、仕事のことで将来の夢を持っていますか？	3.1			
	教育環境	あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？	3.0			
誇りがある	自然資源	あなたは、地域の自然を素晴らしいと感じていますか？	4.3	11.7	2.23	26.1
	歴史・文化	あなたは、地域の歴史や文化に誇りを感じていますか？	3.8			
	地域社会とのつながり	あなたは、地域社会とのつながりを感じていますか？	3.6			
経済的な安定	家計所得	あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？	2.8	9.5	2.64	25.1
	消費活動	あなたは、必要なモノやサービスを購入できていると感じていますか？	3.2			
	住まい	あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？	3.5			
将来に不安がない	心身の健康	あなたは、ころやからだ健康だと感じていますか？	3.3	10.0	2.44	24.4
	食と生活環境の安全	あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全だと感じていますか？	3.9			
	防災・治安	あなたは、災害や防犯に対する備えができていると感じていますか？	2.8			
						102.3
						68.2

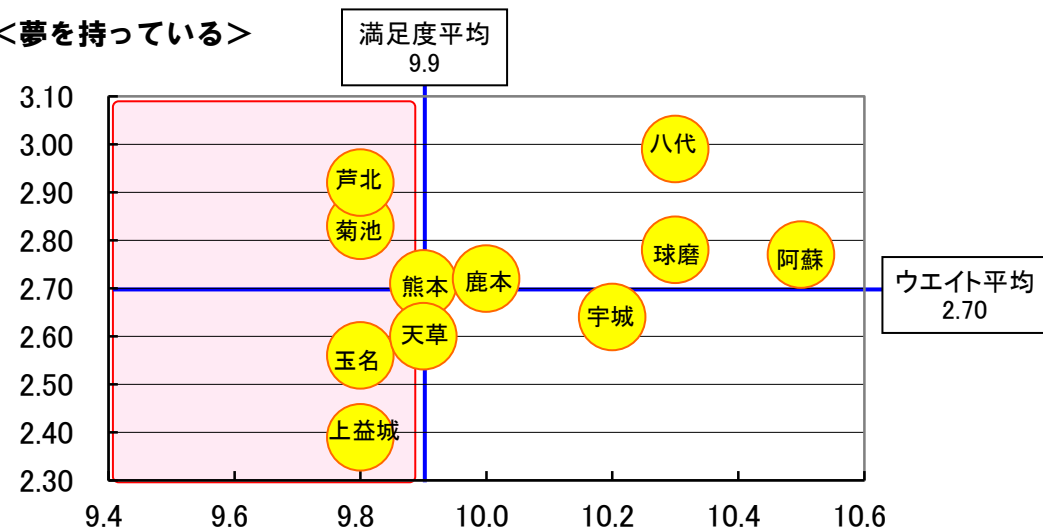
1 AKHの経年比較 (H26→H27)



2 満足度とウエイトの関係 (H27)

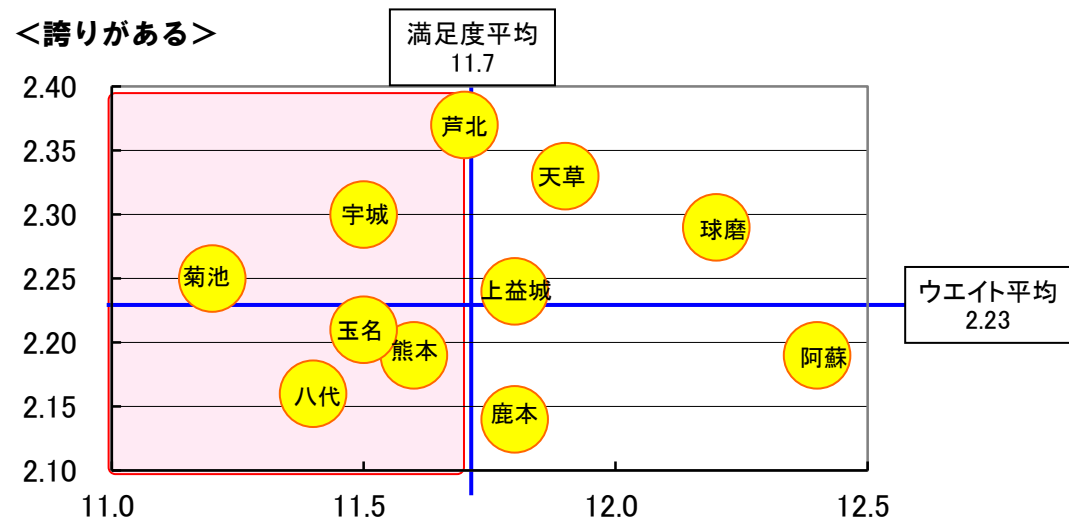
※横軸:満足度/縦軸:ウエイト (グラフの考え方は次ページ)

<夢を持っている>



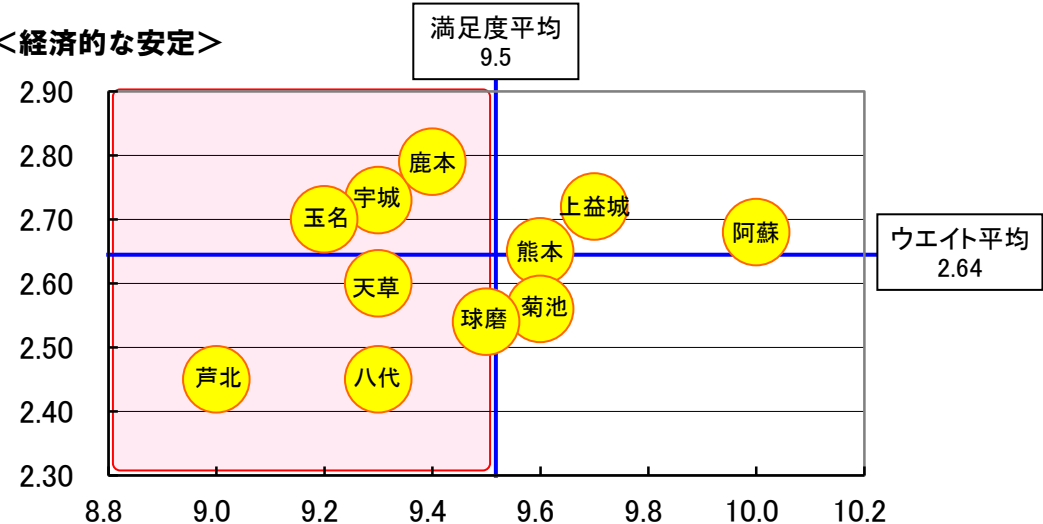
	県平均	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	9.9	9.9	10.2	9.8	10.0	9.8	10.5	9.8	10.3	9.8	10.3	9.9
ウエイト	2.70	2.71	2.64	2.56	2.72	2.83	2.77	2.39	2.99	2.92	2.78	2.60

<誇りがある>



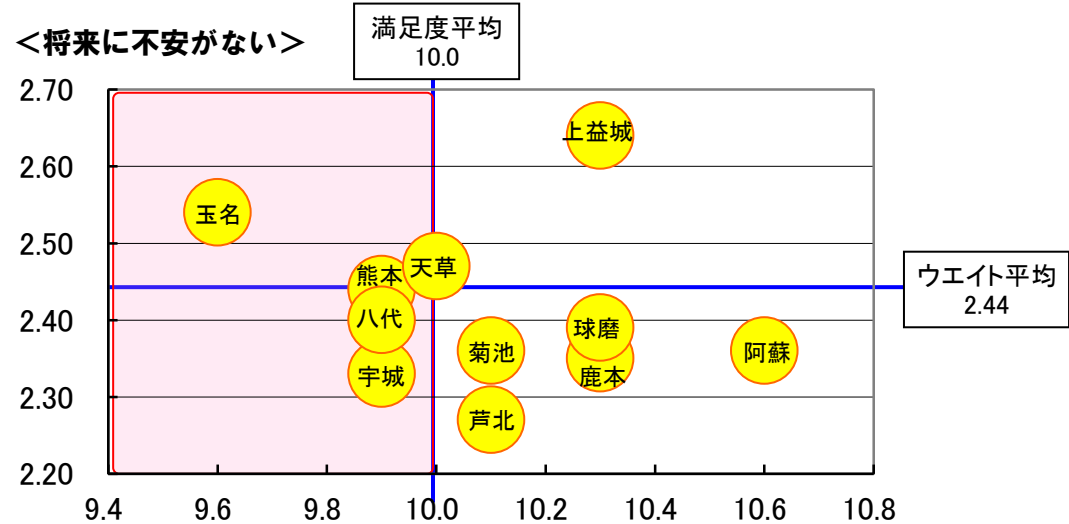
	県平均	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	11.7	11.6	11.5	11.5	11.8	11.2	12.4	11.8	11.4	11.7	12.2	11.9
ウエイト	2.23	2.19	2.30	2.21	2.14	2.25	2.19	2.24	2.16	2.37	2.29	2.33

<経済的な安定>



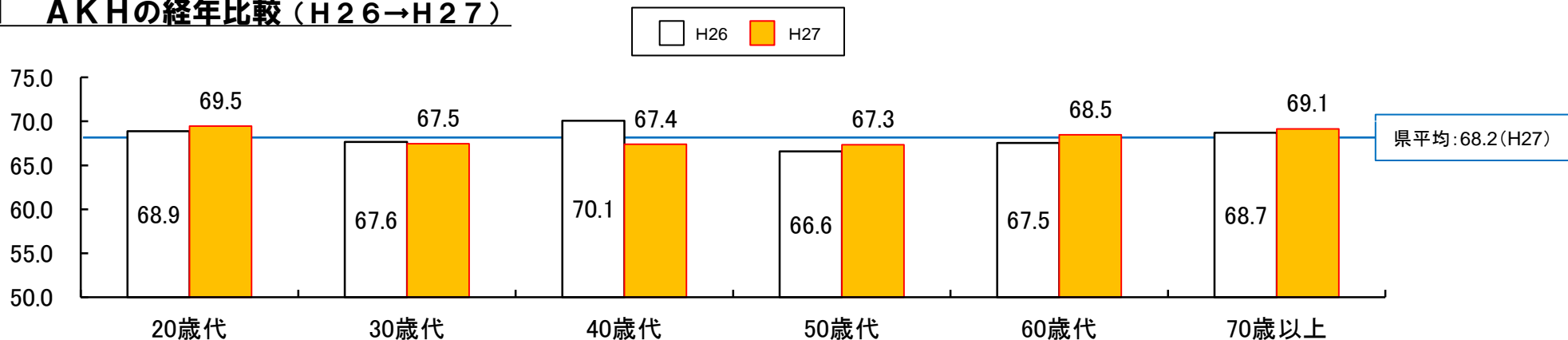
	県平均	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	9.5	9.6	9.3	9.2	9.4	9.6	10.0	9.7	9.3	9.0	9.5	9.3
ウエイト	2.64	2.65	2.73	2.70	2.79	2.56	2.68	2.72	2.45	2.45	2.54	2.60

<将来に不安がない>

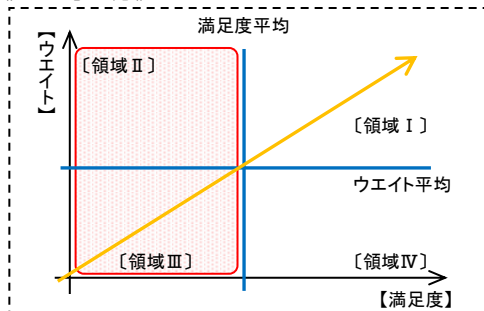


	県平均	熊本	宇城	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草
満足度	10.0	9.9	9.9	9.6	10.3	10.1	10.6	10.3	9.9	10.1	10.3	10.0
ウエイト	2.44	2.44	2.33	2.54	2.35	2.36	2.36	2.64	2.40	2.27	2.39	2.47

1 AKHの経年比較 (H26→H27)



《2の考え方》



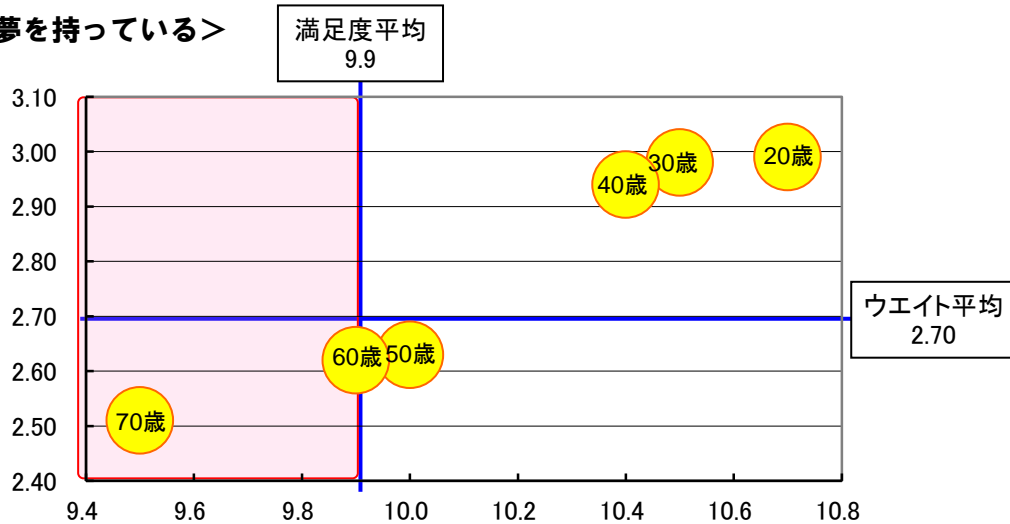
- 【4つの領域の位置づけ】
- 〔領域Ⅰ〕 満足度、ウェイトともに平均より高い。
 - 〔領域Ⅱ〕 満足度は平均より低いが、ウェイトは平均より高い。
 - 〔領域Ⅲ〕 満足度、ウェイトともに平均より低い。
 - 〔領域Ⅳ〕 満足度は平均より高いが、ウェイトは平均より低い。

“4つの分類”ごとに、満足度が県平均より低くなる領域Ⅱと領域Ⅲに位置する地域や年齢階層に着目し、これらの満足度を高めるための施策を実施していくことが重要と考えられる。

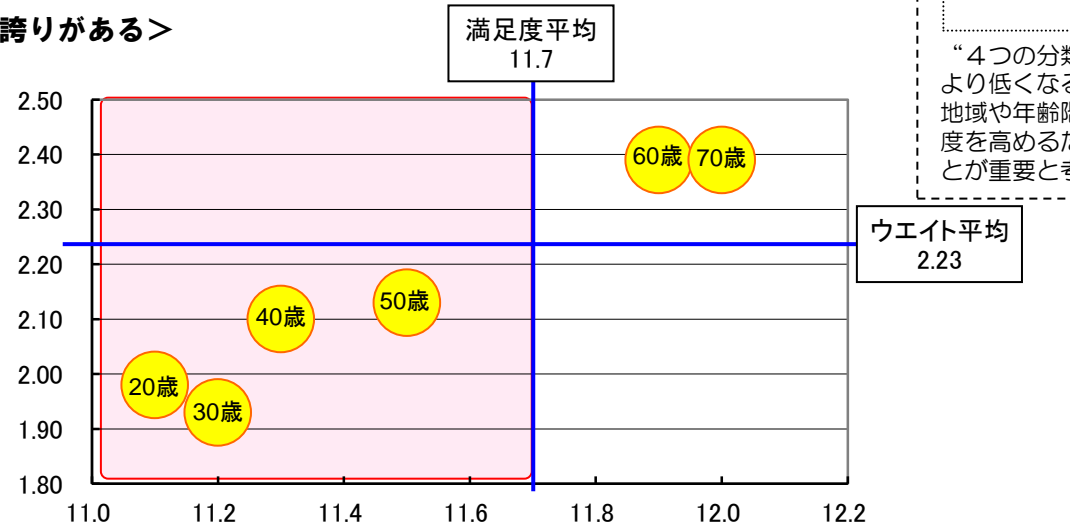
2 満足度とウェイトの関係 (H27)

※横軸:満足度/縦軸:ウェイト (グラフの考え方は右のとおり)

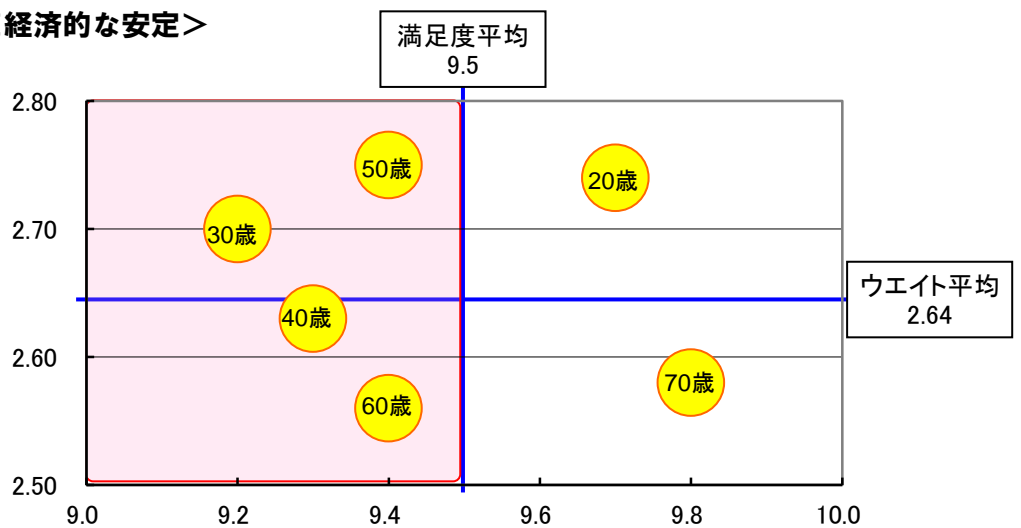
<夢を持っている>



<誇りがある>



<経済的な安定>



<将来に不安がない>

